

愛媛県新居浜市宮西校区
地区防災計画



子どもから高齢者まで
みんなが安心して暮らせるまちづくり

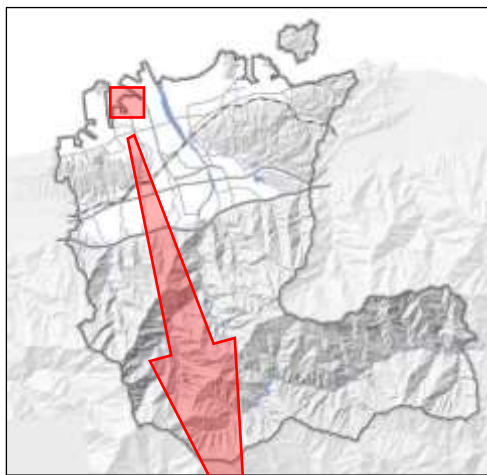
令和5年2月

1 地域の概要

宮西校区は、市の中心市街地に位置し、全体的に住宅が密集しており、北西側は瀬戸内海に面し、東側には尻無川、南西側には東川の湾曲部が接しています。

校区内には、宮西小学校、北中学校、新居浜西高等学校、口屋跡記念公民館のほか文化振興会館が立地されており、災害時には避難所として活用されることとなります。

全体的に海拔が低いため、ほぼ全域が高潮と国領川洪水における浸水想定区域であり、平成16年の災害時には東川の氾濫によって西側のほぼ半分が浸水した経緯もあることから、水害予測時には早期の避難が必要となります。



2 社会特性

(1) 世帯・人口構成及び比率

(令和5年1月現在)

世帯	比率(%)	人口	比率(%)	男性	比率(%)	女性	比率(%)
2,569	4.5	4,536	3.9	2,253	4.1	2,283	3.8

(2) 避難行動要支援者数(市で確認済みの人数)

(令和5年1月現在)

対象者数	同意	不同意	その他
155	82	9	64

3 自然特性・災害特性(地域で起こりうる災害)

(1) 被害想定

想定震度	津波浸水深及び浸水開始時間	液状化危険度
7	0.5～3m 4時間後	極めて高い(30<PL)※
土砂災害	洪水浸水	ため池浸水
特別警戒区域	なし	なし
警戒区域	なし	

※ PL=液状化可能性指数。数値が大きいほど液状化の危険性が高くなる。

(2) 地理的特性

流域河川	二級河川	国領川、尻無川、東川
	普通河川	なし
洪水浸水想定区域	地区内全域	
土砂災害特別警戒区域及び土砂災害警戒区域	なし	
南海トラフ巨大地震による津波浸水想定区域	西町、中須賀町一・二丁目、西原町一～三丁目、泉池町、泉宮町、宮西町、徳常町	

(3) 想定される災害

災害種別	被災内容	備考
地震	想定震度7(建物倒壊、液状化)	
津波	最大想定浸水深0.5m～3m(地震発生から4時間後)	20cmに達する時間
洪水	最大想定浸水深0.5m～3m(想定最大規模)	
土砂災害	なし	

4 防災の取組状況（予定）

取組時期	取組内容	対象
毎年9月上旬	校区防災訓練 (地震体験、初期消火、煙体験、避難所受付等)	地域住民 小学生・中学生
	町別防災訓練 (防災まち歩き)	

5 災害時の課題

区分	課題
地震	木造の家屋が多く密集している。 全体的に海拔が低い。
水害・土砂	東川の湾曲部が接しており氾濫しやすい。

6 災害時の現状

区分	現状
地震	旧基準の住宅が多く崩壊や火災の危険度が高い。 床上浸水しやすい。
水害・土砂	東川の氾濫による浸水の被害がある。 高潮などによる浸水の被害がある。
避難所開設運営	公共の施設が多く、避難場所が多い。
自助共助の向上	太鼓割などの負担のために自治会加入を避ける人がいる。 青年団が自治会活動に参加している。
要支援者の支援	独居高齢者が多く、連絡もとりにくい。 自治会加入率が低い。
その他	古い住宅や空き家が多く、強風による被害発生のおそれがある。

7 災害時の対策

区分	対策
地震	避難場所として民間等の高いビル所有者と協定を結ぶ。
水害・土砂	避難経路を確認する。
避難所開設運営	防災ワークショップなどの活動を定期的に行う。
自助共助の向上	危険箇所を周知する。 防災資機材を点検、確認する。 防災活動の情報を共有する。 自治会加入を促進する。 行政防災無線放送、スマホ（防災情報）、市ホームページ、テレビ、防災ラジオ、近隣との声かけで情報を入手する。 避難袋等（食料3日分、モバイルバッテリー、貴重品、薬（必要な人）、子どもの遊び道具など）を準備する。 非常食を備蓄する。 防災グッズを準備する。
要支援者の支援	避難困難者を把握する。 高齢者・障がい者の避難準備を早めに呼びかける。
その他	

8 緊急避難場所及び避難所

施設名		収容人数		使用制限
		緊急避難場所として	避難所として	
宮西小学校	校舎 ※津波避難ビル	3,635 (2,423)	908	津波・高潮・洪水2階以上
	体育館	807	202	津波・高潮・洪水×
	グラウンド	11,274	—	津波・高潮・洪水×
北中学校	校舎 ※津波避難ビル	3,358 (2,518)	839	津波・高潮・洪水2階以上
	体育館・武道場	2,107	525	津波・高潮・洪水×
	グラウンド	15,880	—	津波・高潮・洪水×
新居浜西高校	本館 ※津波避難ビル	3,103 (2,327)	775	津波・高潮2階以上
	第1教棟 ※津波避難ビル	3,399 (2,549)	849	津波・高潮2階以上
	体育館	1,669	417	津波・高潮×
	武道場	378	94	地震・高潮×
	グラウンド	11,495	—	津波・高潮×
口屋跡記念公民館		950	237	津波・高潮2階以上
文化振興会館		993	248	
憩いの森		1,400	—	津波・高潮・洪水×
中須賀公園		1,900	—	津波・高潮×
中央公園		5,400	—	

※「緊急避難場所として」欄の（ ）は津波避難ビルの場合

9 自主的な緊急避難場所

施設名	受け入れ対象地区	使用制限	備考
泉池自治会館	泉池自治会	津波×、高潮2階以上	
宮西泉宮自治会館	宮西泉宮自治会	津波・高潮×、風水害2階以上	

10 防災活動計画（5ヶ年計画）

（1）校区

実施内容 (実施対象)	年度計画					目標
	R5	R6	R7	R8	R9	
町づくりネットワークの構築 (まちづくり協議会)	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	地域住民全員へ情報共有する。 (館報・HP)
避難場所の確認・周知 (安全安心部会)	確認	⇒ 作成	⇒ 配布	⇒ 見直し	⇒	地域住民全員へ情報共有する。 (マップ)
小学生と防災まち歩き(避難経路、危険箇所の確認) (安全安心部会)	検討	実施	⇒	⇒	⇒	防災意識の高揚や地域ぐるみの防災活動を推進するため、防災まち歩きを実施して避難経路、危険箇所を確認する。
校区防災訓練の実施 (全世帯)	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	誰もが参加しやすい校区防災訓練を実施し一人一人の防災行動力の向上を目指す。
防災ワークショップ (安全安心部会)	実施	⇒	計画の見直し	⇒	⇒	地区防災計画をP D C Aサイクルで実践する。
防災資機材の点検(備蓄品を含む) (安全安心部会)	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	毎年点検を実施し、正常に動作するか確認する。

（2）自治会

実施内容 (実施対象)	年度計画					目標
	R5	R6	R7	R8	R9	
自主防災組織の充実 (自治会)	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	自治会員以外も参加する組織を構築する。
町別防災まち歩きの実施 (自治会)	検討	⇒	実施	⇒	⇒	誰もが参加しやすいように計画し、危険箇所を点検する。
避難困難者の把握 (自治会)	検討	⇒	実施	⇒	⇒	継続して調査ができる仕組みづくりを構築する。(福祉課との連携)

(3) 家庭

実施内容 (実施対象)	年度計画					目標
	R5	R6	R7	R8	R9	
家族の避難場所の確認 (家庭)	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	避難カード（身元確認・避難場所）を作成する。
防災グッズの準備と非常食の備蓄 (家庭)	検討	⇒	実施	⇒	⇒	3日分の備蓄の必要性（トイレ対策含む。）を周知し、安全安心部会で作成するチェックリストで確認する。
災害時の情報収集 (家庭)	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	情報収集の方法を広報誌等で周知する。